

ケーヒンPCφ20キャブレターKIT

商品コード	(ライトキャブレター KIT) 110-1085506	(ビックキャブレター KIT) 110-1085516
適合車種	マグナ50 (AC13全車種) ノーマルシリンダーヘッド対応	マグナ50 (AC13全車種) 当社製シリンダーヘッド対応
備考	○インテークポート径φ16対応○ノーマルエアクリナー対応	○インテークポート径φ22~対応○ノーマルエアクリナー対応

この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

■製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

- このパーツは車両の吸気効率を向上させ、出力の増大や燃費の向上等、車両本来の性能を引き出すパーツですが、装着することにより、必ず車両の性能に見合ったセッティングが必要で、セッティングが出ないまま走行しますと、性能低下や焼き付き、故障の原因にもなりますので、十分注意して下さい。
- このキャブレターはチューニング内容にもありますが、排気量を拡大した車両に装着することを前提に開発されています。ノーマルの排気量に装着してもセッティングが出ない場合があります。
- このパーツはレース専用です。組み込んだ車両での一般公道走行はできません。また、クレーム等も一切引きませんので、御理解頂いた上でのご使用をお願い致します。
- このキャブレターの使用後は性能維持の為、必ず分解整備を行って下さい。
- 組み付け不良やセッティングミスによるキャブレター及び、エンジンその他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 取付説明書の手順通りに正しい取付をして下さい。又、記載されていない追加加工はしないで下さい。破損、事故の原因にもなります。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を進めて下さい。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- セッティングには必ずメーカー純正品を使用して下さい。(メインジェット、パイロットジェット等)

当用紙はオートバイ整備の基本的な知識を持った方を対象にしています。技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないで下さい。	火気厳禁 作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用しますので、タバコ等は厳禁です。	十分な換気をして下さい。 作業中は揮発性の高いガソリンを使用します。長時間閉められた室内で作業をしますと身体に有害です。	エンジン作動中、作業後はシリンダーやクランクケース、エキパイ等が大変高熱になっていますので、不注意にふれてはけません。	お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社まで、ご連絡下さい。
--	---	---	--	--

■キャブレターについて (この項ではキャブレター装着時のセッティング方法を記載しています)

●**キャブレターのセッティングとは**
キャブレターはガソリンと空気を混ぜて、混合気を作る箇所です。ガソリンと空気の混ぜり具合を「混合比」と言います。混合比は基本的に薄い、ちょうど良い、濃いこの3つに分類されます。キャブレターセッティングとはアクセル全開から全開まで「ちょうど良い」混合比を目指す事にあります。ちょうど良い混合比を確認するには「運転者本人のフィーリング」と「スパークプラグの焼け具合」で確認します。

※ベストセッティングはエンジンの仕様、気温、気圧、湿度により千差万別です。必ずとも正解が一つな訳ではありません。例えばセッティングを出しても、マフラーを交換しただけでセッティングが狂ったり、朝と夜、標高差、季節、天気によってもセッティングが狂ってしまうケースもあります。

本格的なキャブレターセッティングは慣らし運転終了後に行ってください。(セッティング作業はアクセル全開で行ったりします。慣らしが完了するまで仮セッティングで走行して下さい) 本格的なセッティング作業は十分エンジンを暖機させた後、アクセル開け始めから全開まで、様々なアクセル開度で一通り走行して下さい。走行時のフィーリングやスパークプラグの焼け具合を確認してセッティングして行きます。

キャブレターのベストセッティングとはプラグの焼け具合と走行フィーリングによって、確認します。スパークプラグの焼け具合は電極部分の焼け色で確認します。

全体的に黒い、湿っている→濃い
全体的に白い、電極が青みがかった黒色→薄い
全体的にキツネ色→ちょうど良い



パッキングリスト (図の番号と照合させて作業を進めて下さい)		ライト (φ16)	ビック (φ22)
図番号	パーツ名	商品コード	個数
1	キャブレター本体	401-2014506	× 1 × 1
2	ジョイントファンネル	514-0600000	× 1 × 1
-	マニホールSET (φ16)	410-1085506	× 1 -
-	マニホールSET (φ22)	410-1085516	- × 1
3	マニホールボディ (φ16)	100-1085406	× 1 -
-	マニホールボディ (φ22)	100-1085306	- × 1
4	インシュレーターパッキンφ18	955-1013206	× 1 -
-	マニホールパッキン	950-1015000	- × 1
5	キャップボルト M6×20	060-0500020	× 4 × 4
6	スーパースロットルSET	903-1081000	× 1 × 1
7	スロットルケーブル (ステンメッシュ/ノーマル長)	905-1085100	× 1 × 1
-	スロットルケーブル (ステンメッシュ/300mmL)	905-1085200	- OP

■製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良があった場合は、同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致します。但しそれ以外の故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から6ヶ月です。

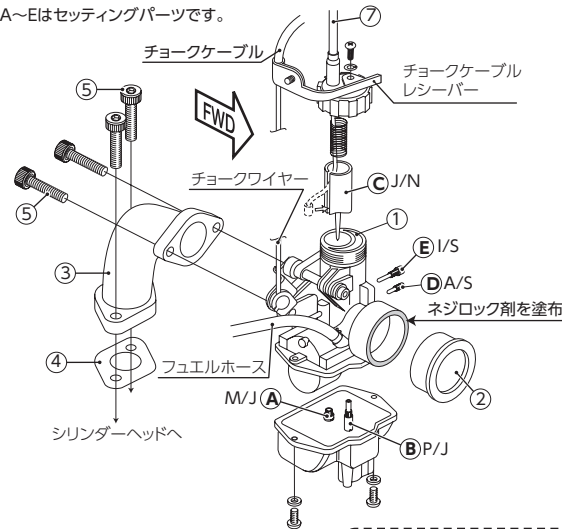
221124 〒577-0015
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
株式会社キタコ FAX.06-6782-0740

取付手順

この取付説明書はノーマル車に取り付けることを前提に制作しています。CDIユニット装着車両の場合、当社製パワーレブ2と併せて使用されますと、より効果を発揮できます。

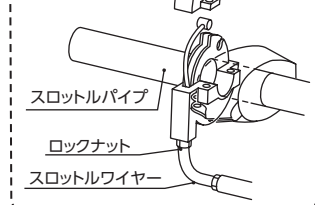
- 1) Lフロントカバー及びエアークリーナーケースカバー、マッドプロテクターを取り外します。
- 2) エアークリーナーを外し、ワッシャーボルトを外します。コネクティングチューブバンドを緩め、コネクティングチューブごとエアークリーナーケースを取り外します。
※コネクティングチューブバンドはエアークリーナーケースを下に下げるとノーマルキャブレターとの接続部に見えます。
※エアークリーナーケースの裏側のチューブガイドからフューエルチューブとエアークリーナーチューブを取り外して下さい。
※吸気量増大の為にコネクティングチューブの加工図を参照してチューブをカットします。
- 3) フューエルコックをOFFにし、ノーマルキャブレターのドレンスクリューを緩めてガソリンを全て抜きます。※ガソリンが抜く際、ガソリンが流出しますので、受け皿等で受けて下さい。
- 4) チョークワイヤーを固定しているビスを緩め、チョークケーブルをノーマルキャブレターから外します。
- 5) ノーマルマニホールドの固定ボルト (エンジン側) を外してマニホールドごとノーマルキャブレターを外します。
- 6) 取り外したノーマルキャブレターから、ノーマルスロットルケーブル、フューエルチューブを外します。
- 7) ハンドル右側のスロットルハウジングのビス2本を外して、スロットルハウジング、スロットルケーブル、スロットルホルダーを取り外します。
- 8) KITのスーパースロットルSETをハンドルに取り付けて、スロットルケーブルをノーマルケーブルと同経路でキャブレター側まで取り回します。
※スロットルの向きに注意し、スロットルパイプ内側にはグリス、スロットルハウジング内側には潤滑剤を必ず塗布して取り付けて下さい。
- 9) KITのキャブレターを図の様に取付け、フューエルホースとチョークワイヤーを取り付けます。
※取り付け後、スロットルを全開、全閉と数回繰り返し、スムーズにスロットルバルブが全開まで作動するか良く確認して下さい。
- 10) ジョイントファンネルにコネクティングチューブを繋ぎ、コネクティングチューブバンドで固定します。エアークリーナーケースを取り付け、エアークリーナー、カバー等を元通りに取り付けます。
- 11) フューエルコックをONにしてエンジンをかけ、エンジン回転数が正常に上昇するか良く確認して下さい。※このキャブレターは予め標準セッティングされていますが、車両もしくはチューニング度合いによって基準値が異なります。左記のセッティングマニュアルを参考にベストセッティングを施して下さい。

A~Eはセッティングパーツです。

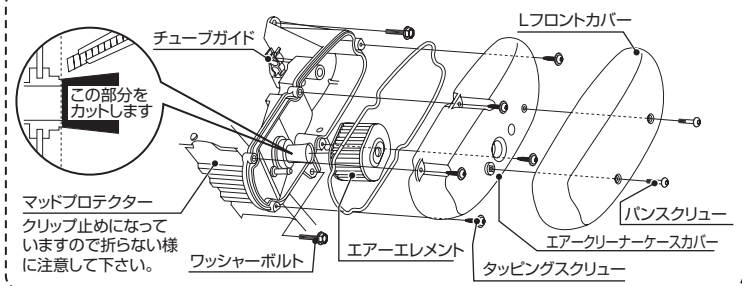


⑥スーパースロットルSETの取付

ブレーキレバーと干渉しないように向きを調節して下さい。



エアークリーナーケースの展開図



- 基本セッティングについて
- このキャブレターのセッティングパーツは出荷時下記の様になっています。セッティングを調整する場合は別紙のマニュアルを参考にして下さい。また、下記のセッティングパーツは当社にて取り扱っています。

